

科目コード	2655586	【授業内容】
学習センター	岡山学習センター	
学習センターコード	33A	
クラスコード	K	
科目名	WAKABAを解体してみよう	この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他(特記事項)】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
科目区分	専門科目：情報	
ナンバリング	320(専門科目：中級)	
定員	20名	
担当講師	ナカタニ タカコ 中谷 多哉子 (放送大学・教授)	学生にも身近なシステム WAKABA の仕様に関する構造を利用者の視点で解析します。解析した構造を可視化するために、ソフトウェア工学で使われている図式を用い、使い勝手の善し悪しがもたらされている原因を明らかにします。 【授業テーマ】 第1回 はじめに：「放送大学の学生」とは何者か～状態とイベントを用いて可視化する～ 第2回 作業の流れを可視化する方法～科目検索作業を可視化する～ 第3回 WAKABA 解体（1）～WAKABA における面接授業の履修登録作業を可視化し評価する～ 第4回 WAKABA 解体（2）～WAKABA における様々な授業の履修登録作業を可視化し評価する～ 第5回 情報の構造を可視化する方法（1）～データベースの正規化／「学生」「科目」「履修」の構造：オブジェクト編～ 第6回 情報の構造を可視化する方法（2）～「学生」「科目」「履修」の構造：クラス編～ 第7回 WAKABA で取り扱われている情報の構造を可視化する 第8回 まとめ～可視化、WAKABA の解体、そして評価～ 【学生へのメッセージ】身近な情報システムを解析するための技術があることを理解し、客観的にシステムを評価できるようになることを目指してください。 【受講前の準備学習等】WAKABA 学生マニュアルのうち、「面接授業の履修登録作業」「1. 基本操作編 p.1-1～1-5、1-30～31」「4. 教務情報編 p.4-2～5、4-31、4-33～38」を参照するための手順を確認しておいてください。 【成績評価の方法】成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】各自のパソコンを持参してください。ここでパソコンとは、ブラウザを使ってインターネットにアクセスできるパソコン、またはタブレット端末を指します。ただし、この授業は、パソコンのディスプレイの大きさが10インチ（幅20cm、高さ15cm位）以上であることを想定して行います。資料は持参のパソコンで見ることができまので、配布しません。必要であれば、印刷してご持参ください。授業では WAKABA にログインします。ID とパスワードを確認しておいてください。 【教科書】教科書は使用しません。 【参考書】・UML モデリングのエッセンス第3版（マーチン・ファウラー、羽生田栄一監訳／翔泳社／¥2,640／ISBN=9784798107950） 【その他(特記事項)】この授業は、各自持参のパソコンを無線 LAN に接続して、インターネット環境で行います。所属の学習センターで無線 LAN 利用申請手続きを授業実施の前日までに済ませておいてください（2024 年度学生生活の葉 P112 参照）。パソコンは事前にフル充電しておいてください。AC アダプタも必ず各自で持参してください。持参できるパソコンがない方には、学習センターのパソコンを貸し出しますので、授業実施の前日までに申し出てください。身体に障害をお持ちの方またはそれに準ずる方で、授業の記録が学修上必要と認められる方は、そのための機器の持ち込み・使用を許可します。事前に申し出てください。
日程 実施時間	10月19日(土)	
	第1時限 9:50～11:20	
	第2時限 11:30～13:00	
	第3時限 14:00～15:30	
日程 実施時間	10月20日(日)	
	第1時限 9:50～11:20	
	第2時限 11:30～13:00	
	第3時限 14:00～15:30	
日程 実施時間	第4時限 15:40～17:10	
	第4時限 15:40～16:25	
	試験レポート等 16:25～17:10	
実施会場	岡山学習センター	

鳥取

島根

岡山

広島

福山サテライト

山口

徳島

香川

愛媛

高知